

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

第1四半期 中国の自動車向け動力電池市場

1. 搭載量

中国自動車動力電池産業イノベーション聯盟（ABIA）が4月11日に発表したデータによると、2024年3月、中国の自動車向け動力電池の搭載量は前年同月比25.8%増の35.0GWhで、前月比では94.6%増えた。そのうち、三元系電池は全体の32.4%に当たる11.3GWhで、リン酸鉄リチウム電池は67.6%の23.6GWhであった。

1-3月、動力電池の累計搭載量は85.2GWhで、前年同期より29.4%増加した。そのうち、三元系電池は全体の36.2%に当たる30.9GWhで、リン酸鉄リチウム電池は54.3GWhで63.8%を占めた。表1は2024年1-3月の材料別の動力電池搭載量を示している。

表1. 材料別の動力電池搭載量（2024年1-3月）

材料別	3月の搭載量 (GWh)	1-3月の搭載量 (GWh)	全体に占める割合	対前年同期比増減率
三元系	11.3	30.9	36.2%	47.8%
リン酸鉄リチウム	23.6	54.3	63.8%	20.9%
その他	0.0	0.0	0.0%	-58.0%
合計	35.0	85.2	100.0%	29.4%

注：その他の電池は主に多元系複合電池、マンガン酸リチウム電池、チタン酸リチウム、ナトリウムイオン電池などである。

出典：ABIA

今年に入ってから、北京衛藍新エネルギー科技会社が生産した半固体電池と寧徳時代新能源科技公司（CATL）が生産したナトリウムイオン電池が搭載し始めている。1-3月の半固体電池の搭載量は769.8MWhで、ナトリウムイオン電池は0.7MWhであった。

メーカー別では、大手電池メーカーである寧徳時代新能源科技（CATL）の1-3月の搭載量は41.31GWhで、48.93%の市場シェアで首位を維持した。そのうち、三元系電池（20.36GWh）の市場占有率は67.67%で、リン酸鉄リチウム電池（20.95GWh）は38.57%だった。

比亞迪（BYD）は18.44GWhの搭載量で第2位（21.84%）となった。3位以下は、中創新航科技（CALB）：2.83GWh（6.7%）、惠州億緯鋳能（EVE エナジー）：3.79GWh（4.49%）、国軒高科：3.12GWh（3.7%）と続いた。表2は2024年1-3月の動力電池搭載量上位10社の実績を示している。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

表2. 動力電池搭載量上位10社の実績 (2024年1-3月)

番号	企業名	総搭載量 (GWh)	三元系電池の搭載量(GWh)	リン酸鉄リチウム電池の搭載量 (GWh)	市場占有率
1	寧徳時代 (CATL)	41.31	20.36	20.95	48.93%
2	比亞迪 (BYD)	18.44	/	18.44	21.84%
3	中創新航科技 (CALB)	5.19	2.36	2.83	6.15%
4	惠州億緯鋳能 (EVEエナジー)	3.79	0.49	3.30	4.49%
5	国軒高科	3.12	0.38	0.38	3.70%
6	蜂巢能源科技 (SVOLT)	2.92	2.16	0.76	3.46%
7	欣旺達電子 (Sunwoda)	2.51	1.25	1.26	2.97%
8	LGエナジーソリューション	1.66	1.66	/	1.97%
9	瑞浦蘭鈞エネルギー	1.65	0.01	1.64	1.95%
10	江蘇正力新能電池技術 (Zenergy)	1.02	0.35	0.66	1.20%

注：半固体電池、ナトリウムイオン電池等を含まない。

出典：ABIA

2. 重要材料の消費量

3月、動力とその他の電池用三元系材料の消費量は4.84万トン、リン酸鉄リチウム材料は12.85万トン、負極材料は10.58万トン、セパレータは15.12億㎡であった。三元系電池用電解液の消費量は2.18万トン、リン酸鉄リチウム電池用電解液は7.71万トンだった。

1-3月の動力とその他の電池用三元系材料の消費量は9.38万トン、リン酸鉄リチウム材料は23.45万トン、負極材料は19.7万トン、セパレータは28.14億㎡であった。三元系電池用電解液の消費量は4.22万トン、リン酸鉄リチウム電池用電解液は14.07万トンだった。表3は2024年1-3月の動力電池重要材料の消費量実績を示す。

表3. 動力電池重要材料の消費量実績 (2024年1-3月)

重要材料		3月の消費量	1-3月の消費量
正極材料(万トン)	三元系材料	4.84	9.38
	リン酸鉄リチウム材料	12.85	23.45
負極材料(万トン)		10.58	19.70
セパレータ(億㎡)		15.12	28.14
電解液(万トン)	三元系材料	2.18	4.22
	リン酸鉄リチウム材料	7.71	14.07

注：輸出材料を含まない。

出典：ABIA

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

3. 生産量

新エネルギー自動車の需要増加を受け、動力とその他の電池の3月の生産量は前月比73.8%増の75.8GWhで、1-3月の累計生産量は前年同期比33.5%増の184.6GWhであった。表4は2024年1-3月の材料別の電池生産量を示している。

表4. 材料別の電池生産量（2024年1-3月）

材料別	3月の生産量 (GWh)	1-3月の生産量 (GWh)	全体に占める割合	対前年同期比増減率
三元系	24.2	61.7	33.4%	36.6%
リン酸鉄リチウム	51.4	122.4	66.3%	31.8%
その他	0.2	0.5	0.3%	145.5%
合計	75.8	184.6	100%	33.5%

注：その他の電池は主に多元系複合電池、コバルト酸リチウム、チタン酸リチウム、コバルトフリー電池などである。

出典：ABIA

4. 販売量

3月、動力とその他の電池の販売量は前月比96.1%増の73.2GWhであった。そのうち、動力電池は全体の85%に当たる62.3GWhで、その他の電池は11GWhで15%を占めた。

1-3月の動力とその他の電池の累計販売量は前年同期比35.5%増の167.7GWhであった。表5は2024年1-3月の材料別の電池販売量を示している。

表5. 材料別の電池販売量（2024年1-3月）

材料別	3月の販売量 (GWh)	1-3月の販売量 (GWh)	全体に占める割合	対前年同期比増減率	
動力電池	三元系	23.2	57.5	34.3%	28.3%
	リン酸鉄リチウム	38.8	88.3	52.6%	40.0%
	その他	0.2	0.4	0.3%	185.9%
	合計	62.3	146.2	87.2%	35.4%
その他の電池	三元系	0.0	0.1	0.1%	-45.1%
	リン酸鉄リチウム	10.9	21.4	12.8%	38.0%
	合計	11.0	21.5	12.8%	36.8%
合計	73.2	167.7	100.0%	35.5%	

注：その他の電池は主に多元系複合電池、コバルト酸リチウム、チタン酸リチウム、コバルトフリー電池などである。

出典：ABIA

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

5. 輸出量

3月、中国の動力とその他の電池の輸出量は総販売量の16.7%に当たる12.2 GWhで、前月より48.7%増加した。そのうち、動力電池の輸出量は11.9 GWhで全体の96.8%、その他の電池は0.4 GWhで3.2%を占めた。

1-3月の輸出量は前年同期比2.2%減の28.9GWhで、総販売量の17.2%に相当した。表6は2024年1-3月の材料別の電池輸出量を示している。

表6. 材料別の電池輸出量（2024年1-3月）

材料別		3月の輸出量 (GWh)	1-3月の輸出量 (GWh)	全体に占める割合	対前年同期比増減率
動力電池	三元系	6.1	14.8	51.2%	-20.7%
	リン酸鉄リチウム	5.6	13.1	45.3%	92.0%
	その他	0.1	0.3	1.1%	540.1%
	合計	11.9	28.1	97.6%	10.5%
その他の電池	三元系	0.0	0.0	0.0%	-99.3%
	リン酸鉄リチウム	0.4	0.7	2.4%	-81.9%
	合計	0.4	0.7	2.4%	-82.5%
合計		12.2	28.9	100.0%	-2.2%

出典：ABIA

情報源：中国自動車動力電池産業イノベーション聯盟（ABIA）